

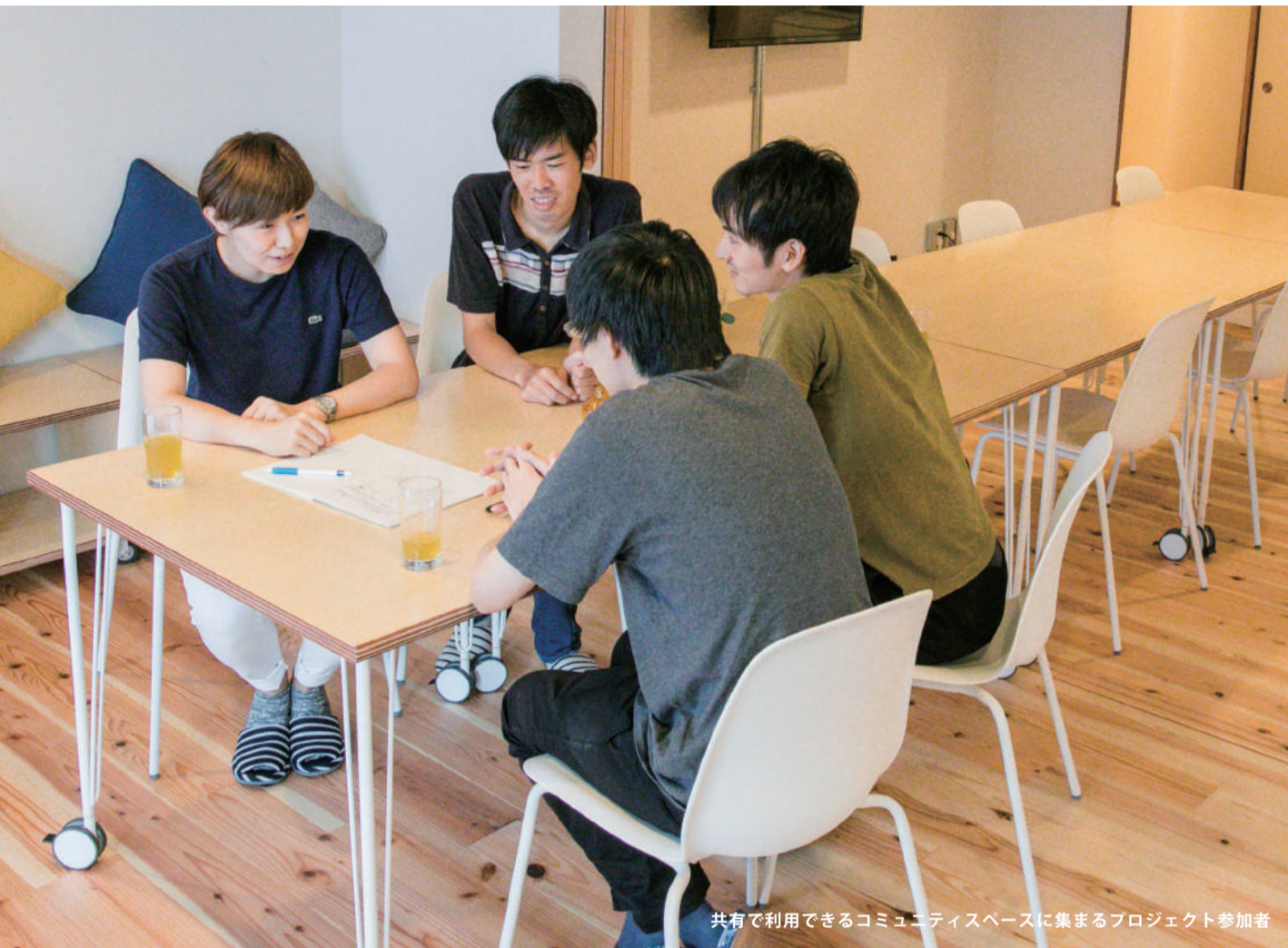
MODEL HOUSE

住宅つき就職支援プロジェクト

Project Supported by

NPO 法人 HELLOlife × 大阪府 × 公益財団法人 日本財団

(2019 年度は上記三者に、四條畷市も加わった四者で実施)



共有で利用できるコミュニティスペースに集まるプロジェクト参加者



プロジェクトで提供している住まい（リノベーション後）



プロジェクトで提供している住まい（リノベーション後）

全国で初めての公営住宅の空室を活用した若者向け就職サポートの取り組み 「住宅つき就職支援プロジェクト MODEL HOUSE」

プロジェクト概要

「住宅つき就職支援プロジェクト MODEL HOUSE」は、2017 年度から大阪府 × 公益財団法人日本財団 × NPO 法人 HELLOlife の三者が協働で取り組んでいるプロジェクトです。

離転職を繰り返し、不安定な就業状況に置かれている 15 歳～概ね 39 歳までの若者を対象に、就職のサポートに加え、大阪府四條畷市にある公営住宅 大阪府営「清滝住宅」の空室を住まいとして提供する住宅サポートと、プロジェクト参加者や地域住民との交流を促進するコミュニティサポートの 3 つのサポートプログラムで、若者の人生を応援するプロジェクトです。公営住宅を活用した就職サポートプロジェクトは全国初で、これまでに 40 以上のメディアで取り扱われ、他の自治体からの視察依頼も増えました。

OUTLINE



プロジェクト実施場所 大阪府営「清滝住宅」



3 つのサポートプログラム

3 PROGRAMS

本プロジェクトでは、「就職サポート」「住宅サポート」「コミュニティサポート」の 3 つのサポートプログラムに参加者に提供しました。「就職サポート」では、自己分析・企業研究・就職準備研修に取り組み、集中講義型のセミナーやキャリアカウンセリングを通じて、それぞれが希望する企業への応募し、就職を決定していきました。「住宅サポート」では、建設のノウハウを持つスタッフの指導のもと、参加者は自分の手で部屋を改修・リノベーションしました。「コミュニティサポート」では、自治会活動への参加等で地域住民や参加者同士の交流を促進し、社会参加の機会を得たり、職業能力を身につけていきました。これら 3 つのサポートプログラムによって、事業開始からおよそ 2 年で 12 名の若者が親元から離れ、自立した生活を送っています。

プロジェクト実施の背景

BACK GROUND

厳しい雇用情勢の中、ワーキングプア状態等、不安定な就業状況を繰り返している若者が存在しています。大阪府内でも若者の概ね 3 人に 1 人にあたる約 35 万人が非正規雇用です。その平均年収は約 172 万円（正規雇用は約 487 万円）で、このような状況下で、安定した収入を得て、住まいを確保し、自立した生活をおくることは決して容易なことではありません。また、公営住宅は単身の若者等の入居が一般的でないとされてきました。そこで本プロジェクトでは、公営住宅の空室を若者に提供し就職をサポートすることで、就職による収入の増加に加え、生活コストを下げ生活の安定を図る新たな「生き方・暮らし方」を提案しています。本プロジェクトを通じて、新たな若者就職支援モデル・公営住宅活用モデルを構築し、全国へと展開していきたいと考えています。



提供された部屋でリラックスするプロジェクト参加者